

姫路獨協大学

2012年度後期「学生による授業評価」アンケート ～調査結果報告書～

I. 調査の概要

1) 調査目的

調査結果を各授業担当教員にフィードバックすることにより、次学期以降の教育内容・方法等の改善に資することを目的とする。

2) 調査項目

- ・学生の属性に関する項目(学年、学科等、性別、学生区分)
- ・学生の受講態度に関する項目(出席状況、マナー)
- ・教員の授業に関する基本的な質問(話し方、教材の活用、目的明示、時間厳守、授業の進度)
- ・教員の授業に関する姿勢についての質問(熱意、質問への対応、秩序維持、公平性)
- ・授業の内容に関する質問(シラバス準拠、分かりやすさ、新しい知見)
- ・授業に対する満足度に関する質問(学習意欲増、他の学生に推薦したい、総合満足度)
- ・各担当教員の希望オプション質問項目
- ・自由記述(良かったところ、改善すべきところ、授業評価アンケートに対する意見・要望等)
(※体育科目については、一部の質問を別の質問に替えて実施した)

3) 調査対象

- ・学部 of 全学生を対象に、開講している全授業科目(担当教員の専任・非常勤は問わない)について調査を実施。ただし、集中講義、及び学外実習授業は除く。

なお、複数の授業科目を受講している学生は、受講科目ごとに重複して調査対象に数えるものとする。

4) 調査方法

- ① アンケート用紙は、講師控室(メールボックス)にて各授業開始前に教員へ配布する。
- ② 各授業の担当教員が授業開始時に学生へアンケート用紙を配布する。
- ③ アンケート用紙の回収は、学生(代表者を選出する)によって行い、その場で封緘する。
- ④ 代表として選出された学生は、回収したアンケート用紙を所定の場所(教務課)へ提出する。

5) 調査期間

- ・2013年1月15日(火)～2013年1月28日(月) ※原則として第1週目に調査実施、第2週目は予備日。

6) 調査主体

姫路獨協大学 FD委員会

7) データ入力・集計・分析等の委託機関

株式会社 アイピーリサーチ

〒540-0025 大阪府中央区徳井町2-2-2 テツタニビル3F
TEL 06-6944-0977 FAX 06-6944-0979 URL <http://www.ip-r.co.jp/>

8) 調査対象者数、回答者数、回収率等

	調査対象科目数	調査実施科目数	調査実施率
授業科目ベース	830科目	712科目	85.8%

※「調査対象科目数」「調査実施科目数」は、調査の実施単位・集計単位による科目数である。

	延べ調査対象者数	延べ有効回答者数	有効回収率
受講者ベース	20,695名	11,883名	57.4%

※「延べ調査対象者数」「延べ有効回答者数」は、複数の授業科目を受講・回答している学生を重複してカウントした。

〈回答者内訳〉

学年	件数	構成比
1年	4,110	34.6%
2年	3,204	27.0%
3年	2,577	21.7%
4年	1,525	12.8%
5年	29	0.2%
6年	94	0.8%
無回答	344	2.9%
合計	11,883	100.0%

性別	件数	構成比
男性	6,722	56.6%
女性	4,598	38.7%
無回答	563	4.7%
合計	11,883	100.0%

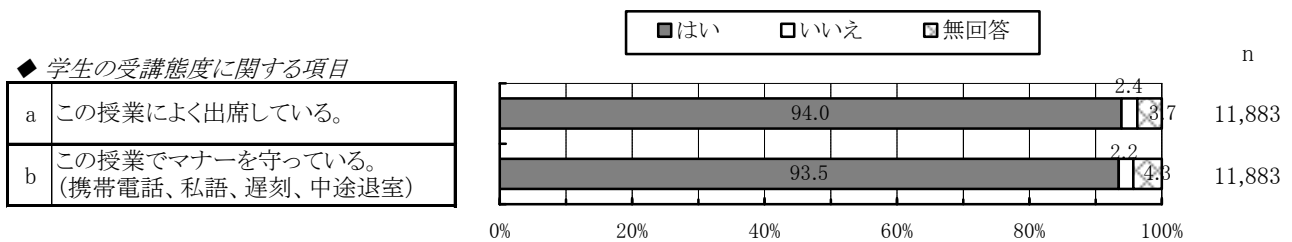
学生区分	件数	構成比
学部生	9,802	82.5%
留学生	1,193	10.0%
その他	48	0.4%
無回答	840	7.1%
合計	11,883	100.0%

学部・学科	件数	構成比	
外国語学部	1,680	14.1%	
法学部	1,514	12.7%	
経済情報学部	2,269	19.1%	
医療保健学部	3,624	30.5%	
内訳	理学療法学科	842	7.1%
	作業療法学科	653	5.5%
	言語聴覚療法学科	511	4.3%
	こども保健学科	765	6.4%
	臨床工学科	853	7.2%
薬学部	2,399	20.2%	
無回答	397	3.3%	
合計	11,883	100.0%	

Ⅱ. 調査の結果

◆ 学生の受講態度に関する項目

- ・[学生の受講態度]に関する学生の自己評価として、以下の2点について質問した。
- ・『(a)この授業によく出席している』かどうかについては、「はい」が94.0%とほとんどを占めている。
- ・同じく、『(b)この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』かどうかについても、「はい」が93.5%とほとんどを占めている。
- ・総じて、学生の自己評価としての受講態度は大変良いと言える。



◆ 教員の授業に関する基本的な質問

- ・『(1) 教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる』かどうかについては、「非常にそう思う」が47.0%、「そう思う」が34.8%で、両者を合わせた肯定的評価が8割強となっている。
 - ・体育科目では、上記質問に替えて『(1) 教員の説明・指示の仕方はわかりやすかった』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が73.9%、「そう思う」が21.4%で、肯定的評価が95%以上を占めている。
 - ・『(2) 教員は、教材(教科書、レジュメ等)及び教育設備(ホワイトボード、パワーポイント等)を適切に活用している』かどうかについては、「非常にそう思う」が47.0%、「そう思う」が35.3%で、肯定的評価が8割強となっている。
 - ・体育科目では、上記質問に替えて『(2) 教員は、授業での課題呈示(教材や運動の種類など)を適切に活用している』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が65.6%、「そう思う」が25.0%で、肯定的評価が9割を占めている。
 - ・『(3) 教員は、授業のテーマや目的を明確に示している』かどうかについては、「非常にそう思う」が48.2%、「そう思う」が33.7%で、肯定的評価が8割強となっている。
 - ・体育科目では、上記質問に替えて『(3) 毎回、少しでも運動技術は上達している』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が48.2%、「そう思う」が33.7%で、肯定的評価が8割強となっている。
 - ・『(4) 教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている』かどうかについては、「非常にそう思う」が51.3%、「そう思う」が32.9%で、肯定的評価が8割を超える。
 - ・『(5) この授業の進度は適切である』かどうかについては、「非常にそう思う」が44.4%、「そう思う」が33.4%で、肯定的評価が8割弱となっている。
- なお、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた否定的評価(全体の4.2%)を行った学生に対しては、進度が速いのか遅いのかを重ねて質問したところ、「速すぎる」が(否定的評価者全体の)5割、「遅すぎる」が2割弱、また、無回答も3割強存在する。

- ・以上より、[教員の授業に関する基本的な質問]に対する学生の評価は総じて高く、特に問(1)～問(4)までは肯定的評価が全て8割以上と一律の評価となっている。体育科目固有の質問ではさらにその傾向が顕著で、問(1)～問(3)の全ての質問で肯定的評価が9割を超える。

◆ 教員の授業に関する姿勢についての質問

- ・『(6)教員の授業態度に、熱意が感じられる』かどうかについては、「非常にそう思う」が48.0%、「そう思う」が33.6%で、肯定的評価が8割強となっている。
- ・『(7)教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる』かどうか、『(8)教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている』かどうか、及び『(9)教員は、学生に対して公平に接している』かどうかについては、三者ともに肯定的評価が80%となっている。
- ・以上より、前頁の[教員の授業に関する基本的な質問]に引き続き、[教員の授業に関する姿勢]に対しても学生の評価は総じて高く、問(6)～問(9)の全ての質問で肯定的評価が80～81%台と一律の評価である。

◆ 授業の内容に関する質問

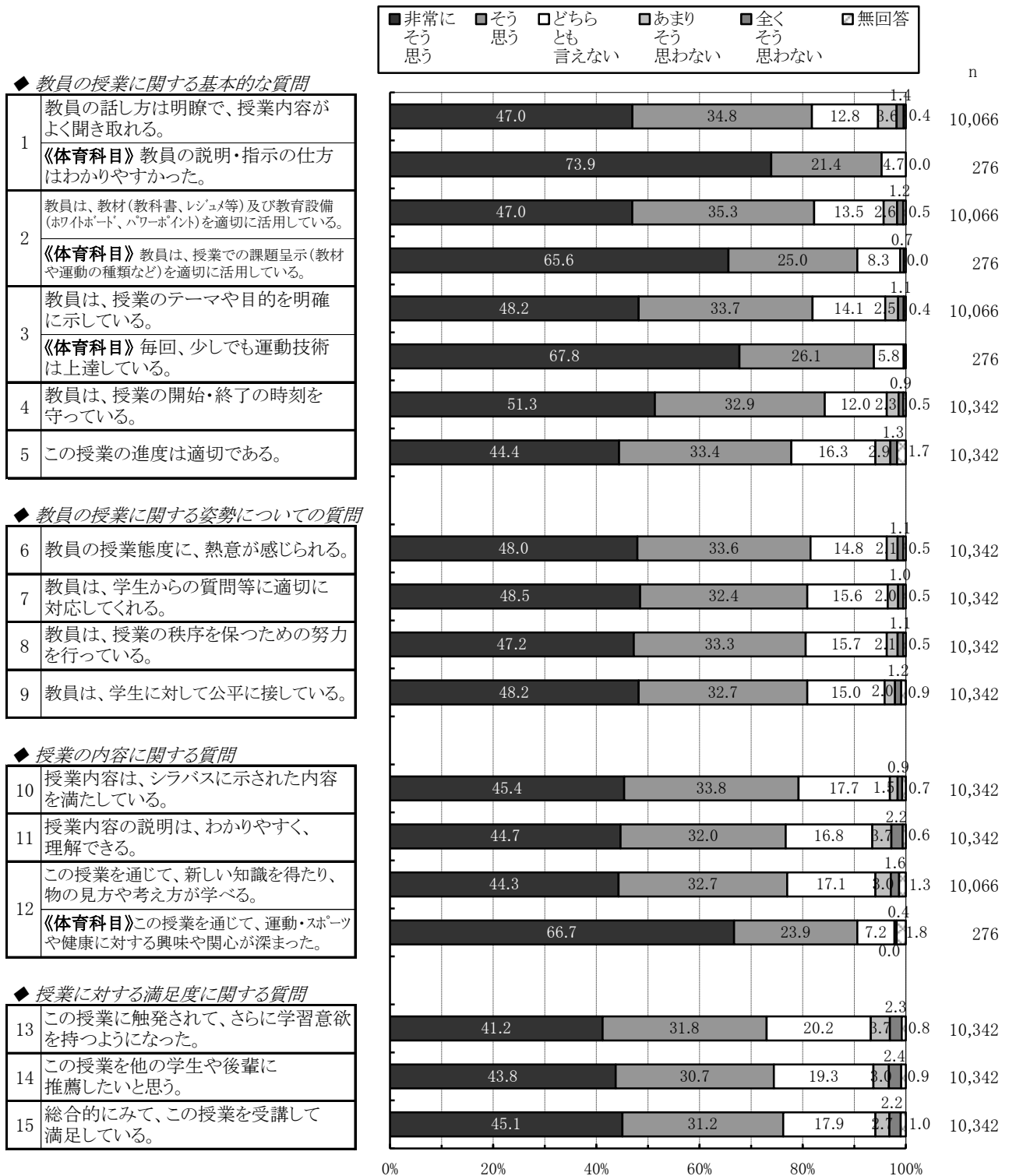
- ・『(10)授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』かどうかについては、「非常にそう思う」が45.4%、「そう思う」が33.8%で、肯定的評価がほぼ8割となっている。
- ・『(11)授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』かどうかについては、「非常にそう思う」が44.7%、「そう思う」が32.0%で、肯定的評価が7割台後半となっている。
- ・『(12)この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる』かどうかについては、「非常にそう思う」が44.3%、「そう思う」が32.7%で、肯定的評価が7割台後半となっている。
- ・体育科目では、上記質問に替えて『(12)この授業を通じて、運動・スポーツや健康に対する興味や関心が深まった』かどうかについて質問したところ、「非常にそう思う」が66.7%、「そう思う」が23.9%で、肯定的評価が9割を占めている。前出の体育科目固有の3質問と合わせて見ると、体育科目固有の計4質問では、肯定的評価が全て9割を超えており、否定的評価は全て1%未満と極端に低いことが分かる。
- ・以上より、[授業の内容に関する質問]に対する学生の評価も概ね高く、問(10)～問(12)(体育科目固有の質問を除く)の全ての質問で肯定的評価が7割台後半と一律の評価である。

◆ 授業に対する満足度に関する質問

- ・『(13)この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった』かどうかについては、「非常にそう思う」が41.2%、「そう思う」が31.8%、両者を合わせた肯定的評価が7割台半ばであり、問(1)～問(15)の全質問中で肯定的評価が最も低い項目が本項目である。また、否定的評価は6.0%と1割未満ではあるものの、全質問中で否定的評価が最も高い項目の1つでもある。なお、「どちらとも言えない」が20.2%と多く見られる。
- ・『(14)この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う』かどうかについては、「非常にそう思う」が43.8%、「そう思う」が30.7%で、肯定的評価が7割台半ばとなっている。「どちらとも言えない」も19.3%と多く見られる。
- ・以上の各質問の総合的な評価・総合満足度としての『(15)総合的にみて、この授業を受講して満足している』かどうかについては、「非常にそう思う」が45.1%、「そう思う」が31.2%で、肯定的評価は76.3%であった。また、否定的評価は4.9%、「どちらとも言えない」は17.9%となっている。

・以上より、[授業に対する満足度に関する質問]に対する学生の評価は概ね高く、7割を超える学生に対して、総合的な満足を提供できていると言える。

ただし、前出の[教員の授業に関する基本的な質問][教員の授業に関する姿勢についての質問][授業の内容に関する質問]に属する各質問と比較すると、[授業に対する満足度に関する質問]に属する3質問は肯定的評価がやや低い傾向が見られる。以下のグラフを参照されたい。



以上